

# 個別施設計画

策定年月 R2.1

施設名	高梁城南高等学校			所在地	高梁市原田北町1216-1		
敷地面積	24,174.59 m <sup>2</sup>			棟数	26 棟 (計画記載対象 12 棟)		
延床面積	11,642.78 m <sup>2</sup>				※対象は200m <sup>2</sup> 以上の建物(車庫、倉庫等は500m <sup>2</sup> 以上) ※公舎・寮は全て対象		
設置目的	高等学校教育のため						
<b>【想定される自然災害】</b>							
予想震度 5強                      津波 ー                      浸水 ー							
建築規制	非線引き都市計画区域、第一種住居地域 建ぺい率60%、容積率200%						
エネルギー使用量 (2018年度)	電気	ガス	水道	燃料 (灯油)			
	239,358 kWh	1,366 m <sup>3</sup>	2,311 m <sup>3</sup>	5,880 0			
管理上の 特記事項	敷地内未利用地 なし                      敷地内貸付地 なし 高梁市指定緊急避難場所・指定避難所(崖崩れ、土石流、地滑り、地震)						

## 1 施設内建物の概況

名 称	本館(1棟)9-3	電気科特別教室棟(2棟)9-1	電気科特別教室棟(3棟)9-2
築年(西暦)	1966 年	1964 年	1964 年
構 造	鉄筋コンクリート造 3 階	鉄筋コンクリート造 3 階	鉄筋コンクリート造 3 階
建築面積	321.17 m <sup>2</sup>	203.94 m <sup>2</sup>	131.59 m <sup>2</sup>
延床面積	963.50 m <sup>2</sup>	611.82 m <sup>2</sup>	394.77 m <sup>2</sup>
主要な用途 (室名等)	電気科職員室 化学教室 電気磁気実習室	工作工事实習室 電子機器実習室 電気工事实習室	電気機器実習室 製図実習室 電子計算機実習室
主要な設備 (屋外を含む)	消防設備(自動火災報知設備) 空調設備 給排水設備 消火設備	消防設備(自動火災報知設備) 空調設備 給排水設備 消火設備	消防設備(自動火災報知設備) 空調設備 給排水設備 消火設備
利用状況	中	中	中
耐震性 ※1	有	有	有
躯体(コンクリート) の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2	適	適
	中性化 ※3	適	適
長期使用の 適否	建物傾斜 ※4	適	適
	地盤沈下 ※5	適	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	該当なし	該当なし	該当なし

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値≧0.6(震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm2未満は不適    ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適    ※4 傾斜が有る場合は不適    ※5 地盤沈下が有る場合は不適

名称	特別教室デザイン科実習室棟(26棟)17-1	特別教室棟(28棟)17-2	格技場(30棟)18
築年(西暦)	1971年	1973年	1973年
構造	鉄筋コンクリート造 3階	鉄筋コンクリート造 4階	鉄骨造 1階
建築面積	195.93 m <sup>2</sup>	237.51 m <sup>2</sup>	378.00 m <sup>2</sup>
延床面積	588.40 m <sup>2</sup>	909.09 m <sup>2</sup>	378.00 m <sup>2</sup>
主要な用途 (室名等)	基礎デザイン実習室 写実実習室 造形実習室	自動制御実習室 ビジュアルデザイン実習室 プロダクトデザイン実習室	武道場
主要な設備 (屋外を含む)	空調設備 給排水設備	空調設備 給排水設備	消防設備(自動火災報知設備)
利用状況	中	中	中
耐震性 ※1	有	有	有
躯体(コンクリート)の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2	適	適
	中性化 ※3	適	不適
長期使用の適否	建物傾斜 ※4	適	適
	地盤沈下 ※5	適	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	該当なし	該当なし	該当なし

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値 $\geq 0.6$ (震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm<sup>2</sup>未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

名称	体育館(35棟)21	機械加工実習室・製図実習室棟(38棟)22-1,2	普通教室・特別教室棟(48棟)26-1
築年(西暦)	1977年	1978年	1989年
構造	鉄骨造 1階	鉄筋コンクリート造 4階	鉄筋コンクリート造 4階
建築面積	1,160.61 m <sup>2</sup>	409.98 m <sup>2</sup>	316.80 m <sup>2</sup>
延床面積	1,397.02 m <sup>2</sup>	1,162.56 m <sup>2</sup>	1,296.00 m <sup>2</sup>
主要な用途 (室名等)	体育館	機械加工実習室 情報教室 ネットビジネス実践室	工芸実習室 保健室 普通教室
主要な設備 (屋外を含む)	消防設備(自動火災報知設備) 消火設備	消防設備(自動火災報知設備) 空調設備 給排水設備 消火設備	消防設備(自動火災報知設備) 空調設備 給排水設備 消火設備
利用状況	中	中	中
耐震性 ※1	有	有	有
躯体(コンクリート)の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2	適	適
	中性化 ※3	適	適
長期使用の適否	建物傾斜 ※4	適	適
	地盤沈下 ※5	適	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	消火設備(自動火災報知設備)	屋根 外壁	該当なし

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値 $\geq 0.6$ (震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm<sup>2</sup>未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

名称	管理・特別教室棟(51棟)26-2	環境科学棟(61棟)32	菌床室棟(63棟)33-1,2
築年(西暦)	1990年	2006年	2008年
構造	鉄筋コンクリート造 4階	鉄筋コンクリート造 3階	鉄筋コンクリート造 2階
建築面積	526.94 m <sup>2</sup>	323.96 m <sup>2</sup>	112.00 m <sup>2</sup>
延床面積	2,128.09 m <sup>2</sup>	972.15 m <sup>2</sup>	224.00 m <sup>2</sup>
主要な用途 (室名等)	食物実習室 職員室 デザイン製図実習室	園芸実習室 生物工学実習室 介護実習室	菌床室 馴化温室
主要な設備 (屋外を含む)	電力設備(受変電設備) 消防設備(自動火災報知設備) 空調設備 給排水設備 消火設備	空調設備 給排水設備	空調設備 給排水設備
利用状況	中	中	中
耐震性 ※1	有	有	有
躯体(コンクリート)の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2 中性化 ※3		
長期使用の適否	建物傾斜 ※4 地盤沈下 ※5	適 適	適 適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	消火設備(自動火災報知設備)	該当なし	該当なし

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値 $\geq 0.6$ (震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm<sup>2</sup>未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

## 2. 対応方針

### (1) 施設全体の方針

老朽化の進んだ建物について修繕、改修を行い、使用を継続する。

### (2) 建物ごとの方針

区分	対応方針
本館(1棟)9-3	長寿命化改修を行う。
電気科特別教室棟(2棟)9-1	長寿命化改修を行う。
電気科特別教室棟(3棟)9-2	長寿命化改修を行う。
特別教室デザイン科実習室棟(26棟)17-1	長寿命化改修を行う。
特別教室棟(28棟)17-2	長寿命化改修を行う。
格技場(30棟)18	長寿命化改修を行う。
体育館(35棟)21	予防保全を図る。
機械加工実習室・製図実習室棟(38棟)22-1,2	長寿命化改修を行う。
普通教室・特別教室棟(48棟)26-1	設備等の定期更新を行う。
管理・特別教室棟(51棟)26-2	設備等の定期更新を行う。
環境科学棟(61棟)32	予防保全を図る。
菌床室棟(63棟)33-1,2	予防保全を図る。

### 3. 施設全体のスケジュール

#### (概要)

1 設備等更新 劣化状況を確認しながら順次更新を行う。
2 長寿命化改修 屋上防水等を行うほか、内部・外部の改修を行う。 (1棟、2棟、3棟)2023年度以降設計・施工 (26棟、28棟)2024年度以降設計・施工 (30棟)2025年度以降設計・施工 (38棟)2024年度以降設計・施工

(単位:億円)

区分	対応方針	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026
本館(1棟)9-3	長寿命化改修							設計・施工 3			
電気科特別教室棟(2棟)9-1	長寿命化改修							設計・施工 1棟に含			
電気科特別教室棟(3棟)9-2	長寿命化改修							設計・施工 1棟に含			
特別教室デザイン科実習室棟(26棟)17-1	長寿命化改修								設計・施工 3		
特別教室棟(28棟)17-2	長寿命化改修								設計・施工 26棟に含		
格技場(30棟)18	長寿命化改修									設計・施工	
体育館(35棟)21	予防保全			予防保全を図る。							
機械加工実習室・製図実習室棟(38棟)22-1,2	長寿命化改修								設計・施工 2		
普通教室・特別教室棟(48棟)26-1	設備等の定期更新							屋上防水			
管理・特別教室棟(51棟)26-2	設備等の定期更新							屋上防水			
環境科学棟(61棟)32	予防保全			予防保全を図る。							
菌床室棟(63棟)33-1,2	予防保全			予防保全を図る。							

#### 4. 概算費用

総額 8億円(長寿命化改修)
----------------

## 5. 変更履歴

変更年月	変更内容
R5.3	普通教室・特別教室棟(48棟)及び管理・特別教室棟(51棟)において、設備等の定期更新を追加
R6.3	機械加工実習室・製図実習室棟(38棟)において、長寿命化改修のスケジュールを変更